

【第3回】白子町 住民ワークショップ まとめ

I ワークショップの実施について

1. 実施目的

「白子町第5次総合計画後期基本計画」の検討・策定に向け、住民の意向を把握し、次期計画を策定する際の参考資料を得るため実施しました。

2. 実施概要

【第3回】

開催日時	2022年7月24日（日）14:00～16:00
開催場所	白子町役場第5会議室
参加者数	11名（3グループ）
テーマ	私達でより良い白子町をつくる

3. ワークショップの検討の流れ

1. 第2回ワークショップで検討した、「〇〇を増やす」「△△を維持する」「〇〇を減らす」という視点を実現するための“住民の役割”について、「個人」「地域」「行政」の枠組みに分けて個人で考え、付箋に書き出す。



2. 検討した“住民の役割”をチームで共有



3. チームで“住民の役割”のまとめ

Ⅱ 分野ごとの検討結果

○分析にあたって

- ・今回は、第3回ワークショップの検討結果を報告するものでありますが、ワークショップの内容は、第1回～第3回まで関連するものであるため、第1回・第2回ワークショップの検討結果も記載しています。
- ・第1回ワークショップでは「ビジョン」、第2回ワークショップでは「視点・方法」、第3回ワークショップでは、「住民の役割」について検討しました。

【健幸】

健康(健幸)な人を増やすことや、「声かけ」による支え合いのまちの実現に向けた“役割”について、個人では「規則正しい生活を送る」、地域では「回覧板を活用した見回り」、行政では「健幸ポイントの管理(アプリ)」に関する提案がありました。

〈Aチーム〉

ビジョン	幸福の実感あふれる町
視点	真に健康な人を増やす
方法	「健幸ポイント」制度の運用見直し 効果の検証（医療費・健診データの改善度）
役割	個人：目標設定して規則正しい生活を送る 地域：ウォーキングロードの整備（休憩場所等の設置） 行政：健診の結果の活用

〈Bチーム〉

ビジョン	お隣さんと支え合う町
視点	挨拶・声掛けを行うことを増やす 健幸な人を維持する 孤独死を減らす
方法	町内放送で呼びかける 日常会話 健幸ポイントをアプリで管理 毎日声掛け
役割	個人：声かけを行う 地域：回覧板の活用（孤独死対策） 行政：健幸ポイントをアプリで管理する

【防災・防犯】

安全・安心なまちの実現に向けた“役割”について、個人では「防災活動への参加」、地域では「見回り活動」、行政では「防災情報の提供」「街灯の設置」に関する提案がありました。

〈Aチーム〉

ビジョン	安心・安全な微笑みのまち
視点	街を明るくする
方法	防犯灯や街灯の増設
役割	個人：防災グッズの点検、避難場所の確認、こども110番のいえの協力 地域：近隣住民の把握（避難時）、見守りパトロール 行政：状況に合わせた対応（避難所）、街灯増設

〈Bチーム〉

ビジョン	安心・安全な町づくり
視点	街灯を増やす 避難所の確保
方法	町の予算を増やす 地域で弱者を支える
役割	個人：地域、防災のメンバーに積極的に参加 地域：家族や自治会、学校、町役場各種団体と協働する 行政：ヘルパーさんを増やして、一人暮らしの高齢者の自宅に訪問 食事を宅配・防災情報を提供する

【健幸・防災・防犯】

地域での見回りの体制づくりに向けた“役割”について、個人では「防災活動への参加」、地域では「見回り活動」、行政では「防災情報の提供」「街灯の設置」に関する提案がありました。

〈Cチーム〉

ビジョン	全ての人に福祉が届いて元気に長生きできるまち 子育て支援の充実を みんなが地域の見守り隊！
視点	大人から子どもまで集まることができる場所をつくる
方法	地域の声かけ・見守り隊 公園に健康器具を設置
役割	個人：近所の方とのコミュニケーション、子どもへの声かけ 地域：見守り隊、自治会のつながりの強化（イベント・講習会） 行政：健幸ポイントの還元率を上げる

※C チームは、第2回ワークショップで、「健幸」と「防災・防犯」の分野をまとめて検討したことから、第3回ワークショップでもまとめて掲載しています。

【教育】

小学校の統廃合も踏まえたより良い教育を実現するための“役割”について、個人では「生涯学習の参加」「自身の経験・ノウハウを役立てること」、地域では「学習の場の提供」、行政では「専門職の育成」「少人数を活かした教育」に関する提案がありました。

〈Aチーム〉

ビジョン	学ぶは何の為、価値ある人生歩む為
視点	教育人材の育成・確保
方法	専門職員の配置（IT・英語）
役割	個人：生涯学習への参加（サークル等） 地域：得意分野を活かす（指導者として参加） 行政：専門職員の育成

〈Bチーム〉

ビジョン	教育機会の均等 小中学校の統廃合
視点	学校以外の教育を増やす 小学校の統廃合を進める
方法	若手講師を呼び込む・育成
役割	個人：自身の経験、ノウハウを役立てる（土曜スクールの講師） 地域：無料塾（寺子屋） 行政：ICTの活用

〈Cチーム〉

ビジョン	学校統合 沢山の学びを！
視点	学校が統合されることによる付加価値を高める
方法	白子町についての学習をさらに充実させる 白子町でできることを子ども達が考えられる教育環境の整備
役割	個人：職業体験の場を提供する 地域：高校、大学入試向けの塾 行政：学校間交流を密にして、少人数の学校の利点を活かす

【産業】

町の活性化に向けた“役割”について、個人では「起業の推進」、地域では「DMOへの参画」、行政では「農業の6次産業化」「SNSの活用」に関する提案がありました。

〈Aチーム〉

ビジョン	地域産業生活基盤の旗印
視点	起業創業支援 農業持続化
方法	助成金 活用できるためのアドバイザー 農業の法人化
役割	個人：起業の推進 地域：誰でも参加できる場（道の駅・マルシェなど） 行政：農業の法人化、6次産業化の推進→行政は売る場所を提供

〈Bチーム〉

ビジョン	通年観光による豊かな町 新たな特産物とPR
視点	人を呼び込む 農地・ホテル・テニス・ サッカー場の維持
方法	イベント・フェスの通年 開催 SNSの活用
役割	個人：クラウドファンディング 地域：DMOに参画→観光地域づくり法人 行政：SNSの活用

【住環境】

住み良い町の実現に向けた“役割”について、個人では「リサイクルを率先して行うこと」、地域では「自治会等でリサイクルをすること」、行政では「空き家の再利用」に関する提案がありました。

〈Aチーム〉

ビジョン	住んでよし、生きてよし、生まれてよし
視点	街を明るく 買う・遊ぶ・食べる
方法	雑木林の整備・管理 海岸公園の設置
役割	個人：リサイクルを率先して行う 地域：自治会等でリサイクルの推進 行政：ゴミ袋の低価格化への検討

〈Bチーム〉

ビジョン	コンパクトシティの実現
視点	空き家の活用・定住者を増やす コミュニティバスを増やす 自然を維持する 空き家・議員の数を減らす
方法	移住者に補助 まちの予算を増やす
役割	個人：九十九里浜の自然を守る活動 地域：買い物ができるスーパーがほしいー！！と声を上げる 行政：空き家の再利用（SDGsの取組の一環として自然を活用する）

【産業・住環境】

「住民のための環境づくり」に向けた“役割”について、個人では「近所の空き家情報をSNSで発信」、地域では「移住者の受け入れ」、行政では「インフラ整備」に関する提案がありました。

〈Cチーム〉

ビジョン	道の駅をつくろう！ 交通インフラ整備（小さなバス）
視点	住民のための道の駅をつくる
方法	コミュニティスペースの設置 週1回のマルシェの開催 移住相談窓口の設置 移動販売車の拠点
役割	個人：近所の空き家情報を自分のSNSで発信 地域：移住者を積極的に受け入れる体制（環境）を整える 行政：ガスの安さのPR、複合施設の整備

※C チームは、第2回ワークショップで、「産業」と「住環境」の分野をまとめて検討したことから、第3回ワークショップでもまとめて掲載しています。

【住民参画】

「住民が集える場をつくること」や「意見交換を行う場」の実現に向けた“役割”について、個人では「まちおこしのための様々なイベントの呼びかけ」、地域では「自治会での情報共有」「イベントの企画」、行政では「SNSを活用した情報発信」「ワークショップの開催」に関する提案がありました。

〈Aチーム〉

ビジョン	絆の結びの強いまち
視点	集いの場
方法	イベント開催 テニスイベントなど 若者が集まれる場 (廃校の活用)
役割	個人：まちおこしのための様々なイベントの呼びかけ、誘い合い 地域：掲示板や回覧板で情報共有、荒れ地の整備、再生利用 行政：情報発信の徹底化、SNS情報発信（住民・町外へPR）

〈Bチーム〉

ビジョン	意見交流の場にある町
視点	交流の場・SNSでの発信を増やす 町長との意見交流の場を増やす
方法	不透明な議会・行政運営を減らす
役割	個人：SNSでの情報発信（すごく大事なこと） 地域：フリーマーケットなど個人の作品を展示・販売するイベントを開催（月1回） 行政：町長がSNSを使いこなせるようになってほしい（一番大事なこと）

〈Cチーム〉

ビジョン	子育て支援を充実させて移住者を増やそう！ →（自治会に参加してもらう）
視点	自治会に入る人を増やす
方法	自治会に入る意味を理解してもらう ・共同の畑で農業を教え合う ・イベントで住民の交流を図る
役割	個人：自分の仕事を通じて関係人口を増やす 地域：自治会の活動に子ども達も参加できるようにする (自治会の活動を次の世代につなげる) 行政：ワークショップをもっと開催する

各チームの模造紙内容まとめ（参考）

■Aチーム

○付箋の内容

まちづくり分野	個人	地域	行政
健幸	<ul style="list-style-type: none"> ・規則正しい生活 ・目標設定 	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動 ・ワーキングロードの整備（休憩場所を設置） 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の活用 →健康診断の結果が改善した人へのボーナスポイント ・施設、環境整備
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・防災グッズの点検 ・避難場所の確認、草刈り ・声かけ、子ども 110 番の家の協力 ・防犯ブザー、GPS の携帯 	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の住民の把握 草刈、伐採 ・見守りのパトロール ・避難に対する高齢者への呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・広報無線の活用 ・街灯増設 ・避難者の受け入れの手厚い対応
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・サークル活動 ・読書を日常化 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で子育て推進 ・サークル活動の予算助成金の補助 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門職員の育成 ・専門分野指導者の育成
産業	-	<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも参加できる場（道の駅） 	<ul style="list-style-type: none"> ・農家の後継 →法人化
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・住環境（個人） ・ゴミゼロ→リサイクルを率先してやる 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミゼロ ・ゴミゼロ（活動日）以外でも ・海のゴミひろいなど 	<ul style="list-style-type: none"> ・細かくリサイクル（項目）増やす ・生ゴミ処理機械援助 ・ゴミ袋の広告入れる ・ゴミ袋の低価格化
住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・イベントの呼びかけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・フリーマーケットやマルシェ（ワークショップ）などのイベント ・地引網など地域イベント ・回覧板や掲示板で情報 	<ul style="list-style-type: none"> ・場所の提供 ・募集（ポスター） ・グッズ（げんき君）販売、PR ・SNS で情報発信

○チームのまとめ

まちづくり分野	役割	
健幸	個人	・目標設定して規則正しい生活を送る
	地域	・ワーキングロードの整備（休憩場所等の設置）
	行政	・健診の結果の活用 ・施設（活動）の整備
防災・防犯	個人	・防災グッズの点検 ・避難場所の確認 ・こども110番のいへの協力
	地域	・近隣住民の把握（避難時） ・見守りパトロール
	行政	・状況に合わせた対応（避難所） ・街灯増設
教育	個人	・生涯学習への参加（サークル等）
	地域	・助成金の補助 ・得意分野の方が参加（指導者として参加）
	行政	・専門職員の育成 ・人材バンクの発掘
産業	個人	・起業の推進
	地域	・誰でも参加できる場（道の駅・マルシェなど）
	行政	・農業の法人化、6次産業（加工）の開発→売る場所の提供
住環境	個人	・リサイクルを率先して行う ・ジモティのアプリの活用
	地域	・自治会等でリサイクル
	行政	・周知・支援 ・ゴミ袋の低価格化へ（広告） ・ガレージセール開催→環境整備
住民参画	個人	・まちおこしのための様々なイベントの呼びかけ、誘い合い
	地域	・掲示板や回覧板で情報共有 ・荒れ地の整備、再生利用
	行政	・場所の提供 ・SNS情報発信（住民・対外PR） ・情報発信の徹底化

■ Bチーム

○付箋の内容

まちづくり分野	個人	地域	行政
健幸	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常会話 ・ お隣さんと健幸ポイントに参加 ・ ラジオ体操の実施 ・ 声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 孤独死をなくす ・ 回覧板の活用 (見たらチェックをつけると孤独死対策になるのでは) ・ 町内放送で呼びかける ・ 健幸ポイント 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援活動 ・ 健幸ポイント (ポイントが貯まったらプレゼントみたいなものがあれば、やる気が出てくるのではないか) ・ ヘルパーさんを増やして、一人暮らしの年寄りの自宅に訪問、食事を宅配
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防犯チェック ・ 地域防災のメンバーに積極的に参加 ・ 声かけをすることで、お互いに防災意識を高める 	<ul style="list-style-type: none"> ・ パトロール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 防災訓練の回数を増やす ・ 防災情報を提供
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・ 自己研鑽 ・ 自身の経験、ノウハウを役立てる(土曜スクールの講師) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 暮らし文化 ・ 若手講師を呼び込む、育成 ・ 無料塾 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 場の提供 ・ IT 関係授業 ・ ICT の活用
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・ PR 活動 ・ DMO に参画 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境 ・ 地域協力隊 (白子の特産物(花、野菜、海)などを活かして、イベントの計画など) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境づくり ・ 九十九里浜の自然を守る活動 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定住支援 ・ 空き家の再利用 (SDGs や自然を活用して)
住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・ 参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援 ・ 町長が SNS を使いこなせるようになってほしい (住民から意見が直接聞きやすくなるのではないか?)

○チームのまとめ

まちづくり分野	役割	
健幸	個人	・声かけを行う
	地域	・回覧板の活用（孤独死対策）
	行政	・健幸ポイントをアプリで
防災・防犯	個人	・地域・防災のメンバーに積極的に参加
	地域	・家族、自治会、学校、町役場各種団体と協働で行う
	行政	・ヘルパーさんを増やして、一人暮らしの年よりの自宅に訪問、食事を宅配 ・防災情報を提供
教育	個人	・自身の経験、ノウハウを役立てる（土曜スクールの講師）
	地域	・無料塾（寺子屋）
	行政	・ICTの活用
産業	個人	・クラウドファンディング
	地域	・DMOに参画→観光地域づくり法人
	行政	・SNSの活用
住環境	個人	・九十九里浜の自然を守る活動
	地域	・スーパーがほしいー！！
	行政	・空き家の再利用（SDGsや自然を活用して）
住民参画	個人	・SNSでの情報発信（すごく大事）
	地域	・フリマ、個人の作品を展示・販売するイベント（月1回）
	行政	・町長がSNSを使いこなせるようになってほしい（一番大事）

■Cチーム

○付箋の内容（※チームのまとめ含む）

まちづくり分野	個人	地域	行政
健幸	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の食材を食べる ・ランニングが出来る公園が欲しい 	<ul style="list-style-type: none"> ・ジムをつくる 	<ul style="list-style-type: none"> ・On（※スイスのランニングシューズメーカー）と提携 ・健幸ポイントの還元率を上げる
防災・防犯	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の方とのコミュニケーション ・子どもへの声かけ 	<ul style="list-style-type: none"> ・見守り隊 ・自治会のつながりの強化（イベント・講習会） 	<ul style="list-style-type: none"> ・被災の語り手
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験のお手伝い 	<ul style="list-style-type: none"> ・高校、大学入試向けの塾 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どものワクチン医療費 無償範囲の拡大 ・子どもたちに白子町の歴史を話す ・少人数の学校にも良い所があるので、学校間交流を密に ・保育園への入りやすさが分かる ・農業を小中学校の科目に
産業	<ul style="list-style-type: none"> ・地元の業者を使う 	<ul style="list-style-type: none"> ・白子の事業者 PR 会 	<ul style="list-style-type: none"> ・ガスの安さをアピール ・脱サラ移住しやすいコト ・個人の作り手の移住促進
住環境	<ul style="list-style-type: none"> ・近所の空き家情報を自分の SNS で発信 ・空き家の情報提供 ・空き家の整備 	<ul style="list-style-type: none"> ・移住者の受け入れを積極的に 	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパー、薬局、くつ、本、100均→複合施設 ・複合施設が欲しい ・上下水（ガス）インフラ整備
住民参画	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の仕事を通じて関係人口を増やす 	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会の活動に子ども達も参加できるようにする ・イベントなどの開催 ・町の現状に興味を出す（知ってもらおう） 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークショップをもっとやる